

学校法人相愛学園

理事長 相田芳久 殿

令和元年度

自己点検・評価 報告書

令和2年2月28日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子

理事長

決済



令和元年度の園運営についての自己評価を実施しましたので、結果をご報告いたします。

昨年度に引き続き、本年も幼児の実態を踏まえながら教育内容や環境構成の改善をしていく中で、幼児一人一人の育ちを丁寧にとらえると共に、年間を通じて教育計画全体を精選することで、幼児にとって意味のある生活作りを心掛けました。取り組みについても一つ一つ検証や振り返りを綿密に行ってきましたこと、それなりの成果が生まれたと感じています。次年度も良い目と心を養いながら保育の基本である子どもの心に沿った援助、指導を目指しておきたいと思います。また、個々のレベルでの発達の支援や遊びの援助について見てみると、まだ十分に検討の余地があると思います。子どもの育ちを支える教職員の一層の資質向上に取り組んでいきたいと考えています。

教育計画全般にわたっては、本年も概ね目標を達成することができ、大過なく多くの収穫を得て無事終了できたのではないかと考えております。

具体的な教職員の自己評価においては、項目ごと各自で振り返りを行ったものをまとめました。自分自身の課題が明確になってはいるものの、経験年数によって課題克服に向けての手立てや努力に個人差が表れているように感じます。教職員それぞれが真摯に取り組んでいくよう求めてまいりたいと考えます。

以下、園長による自己評価、教職員による自己評価等について、自己点検・評価結果の報告として報告します。

令和2年2月28日

令和元年度 事業進捗状況報告

焼津豊田幼稚園

□教育計画について

○教育計画、年間指導計画にしたがっての教育運営

意欲的に自分なりの思いや考えを表現できる子どもの姿を目指していく

- ・子どもの姿やその時期においての大目にしたいことを共通理解し、保育実践をしていく。
- ・子どもをまんなかに、教職員全体で共通理解を深め、育ちあう体制づくりをしていく。
- ・クラス運営をする中で、各担任が自分の思いを十分發揮できるよう努力する。

○園内研修

- ・初任者及び経験の浅い教員を中心とした公開保育研修を実施する。
- ・個々の子どもの育ちや現れを共有するための意見交換の場を設ける支援体制を整えていく。

○県私立幼稚園協会主催の研修をはじめとする園外での各種研修に参加

○園内自己点検・評価の実施、振り返りと来年への課題の点検

□地域連携計画について

○焼津中央高校生（保育体験実習約300名）、ならびに豊田中学校生（職場体験3名）

豊田中学校生（保育体験約200名）の実習受け入れを行った。

○豊田地区青少年育成大会に職員の代表5名が参加した。また、同日行われた“とよだのまつり（公民館まつり）”に年中組有志25名が参加した

○子育て支援事業として5月より「つくしんぼクラブ」を実施、園庭開放と共に親子参加型のイベント事業を企画した。

○JRC活動の一環として、地域施設の清掃作業を行った。

□安全管理についての実践

○園庭の遊具の安全点検(学期末)、年度末には専門業者による点検を合わせて実施。

○年間計画に従い、避難訓練（地震津波対応・火災対応等）を実施。職員の消火訓練も実施。

○養護教諭を中心に園児の健康管理体制について検討及び実践練習。

□施設設備計画について

○前庭総合遊具トンネル部分全面交換(5月)

○幼児用下足入れ塗装(8月)

○高圧受変電設備（空調用増設）

空調室内・室外機器設備及び付帯電気工事(6月)

○芝生緑化関係事業

令和元年度 自己評価書

—焼津豊田幼稚園—

評価分類		内 容	チェック
I 教育内容	1 保育の計画	○建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化する	○
		○教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成する	○
		○社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行う	○
		○幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行う	○
	2 教職員体制の充実	○教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行う	○
		○指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくる	○
		○教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保する	○
	3 指導の在り方	○環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成する	○
		○幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成する	▲
		○幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整える	○
		○幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行う	○
		○教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行う	▲
		○遊びを通しての総合的な指導を行う	○
		○障がいのある幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をする	○
		○子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図る	○
II 地域の幼児教育センターとしての役割	4 研修や研究	○教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行う	○
		○教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保する	○
		○個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとる	▲
	1 子育ての支援	○子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施する	○
		○さまざまな教育に関する相談を受け入れる	○
III 安全管理	2 預かり保育	○子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整える	○
		○教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行う	○
	1 外部侵入者・来訪者などに対する安全対策	○幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整える	○
		○地震などの自然災害に対する防災対策を整える	○

			○幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努める	○
			○消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施する	○
			○防火管理者を定めて防火管理を行う	○
			○設備や遊具の点検を定期的に行う	○
			○幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努める	○
			○学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施する	○
			○学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施する	○
			○学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応する	○
			○学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置く	○
IV 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	○幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行う	○
	2	教職員の雇用条件	○幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努める	○
	3	就業規則に基づく労務管理	○労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示する	○
	4	教職員の健康管理	○私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努める	○
V 財務管理	1	予算作成及び予算管理	○労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出る	○
	2	決算	○学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施する	○
	3	納付金算定	○月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得る	○
	4	物品購入	○公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出る	○
VI 評価と情報の公開	1	評価	○学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成する	○
	2	情報の公開	○決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出る	○
	3		○園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにする	○
	4		○教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理する	○
	5		○重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行う	○
	6		○自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめる	○
	7		○学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行う	○
			○自己評価の結果を公表する	○
			○学校関係者評価の結果を公表する	○
			○幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供する	○
			○公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにする	○
			○幼稚園幼児指導要録の写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図る	○

－令和元年度 教員（担任）の自己評価内容について－

本年度も年度末に園内において教職員対象の自己評価を実施した。あらかじめ設定した評価項目にしたがっての振り返りを行なった。その中で、個々の課題の掘り起こしにつなげ、評価・改善策を考えることとした。今年度は3項目について自己の保育を振り返り記述したものをまとめた。以下の通りである。

1. 「自らの保育の計画・実践」についての考察
2. 「教職員間の協働」についての考察
3. 「保護者との連携」についての考察（成果と課題）
4. 「次年度以降取り組みたい課題」について

「自らの保育の計画・実践」について

- ・一人一人への声掛けや子どもの気持ちが高まるような声掛けがまだまだ不十分なので勉強していきたい。
- ・計画がなかなかイメージしきれていない部分が多くあったと思う。計画をもっと細かく丁寧にすることが今後も大切となるので、予想を多くして対応できるようにしていきたい。
- ・子ども達の気持ちや言葉を大切にして保育ができるよう、勉強していきたい。
- ・どんな活動をしていくことが成長につながっていくのか、どんな伝え方が伝わりやすいのかということ考え見通しをもって計画して活動していくことができた。
- ・日々の生活の中で全体を見る、進めていくことも大切だが、個々をもっと見られるようにしていきたい。
- ・見通しをつけて優先順位を考えていくことで事前準備ができたり、子どもの姿を見てこういう保育をしていこうと考える時間も増えた。
- ・経験を増やしていくことで興味を広げたり、好きなものが増えていってくれるよう配慮した。
- ・行事のことは行えても、コーナーや自由遊び、子どもからでた言葉を遊びに繋げていくことが少なかったので、意識して行っていきたい。
- ・保育計画は、目の前の子どもの姿に合わせて行うことができたよう思うが、忙しい時とゆとりのある時に差が出てしまったことは反省。

「教職員間の連携」について

- ・わからないことは聞くように心掛けたが、周りを見て自分なりに考えて動くことができなかつた。
- ・一人一人の子どもに対し、複数の保育者がいろいろな角度から考えたり現在の状況について話し合ったりすることができたのではないかと思う。

- ・自分が自ら気付いてという点で足りないことが多いと感じた。自分でどんな準備が必要なのかしつかり考えて動けるようにしていきたい。
- ・係活動を含め、たくさん助けていただくことが多かった。もう少し自分でできること、しなくてはいけないことを見つけ、行動していきたい。
- ・物事に対して全員で共有することは良いことであるが、結局気付いた人が行動する、できる人が行動する…となりがち。誰かがやってくれるという人任せになっているのではないか。
- ・学年の仕事や係の仕事等、色々な場面で確認をしながら進めていったが、言葉の捉えや個々にとっての丁寧さに差があつたり、意識が薄かつたりもした。
- ・何事においてもそうだと思うが、「気付く」ことばかりではないので、お互いの助け合って仕事を進められるようにしていきたい。
- ・主任間で、もっと保育観や行事の在り方等、話合うことが必要になってきているのではないか。（若い年代の教員をどのように育てていくのかという点も含めて）

「保護者との連携」について

- ・バス通園の保護者と送り迎えの保護者とでは話をする機会に差が出てしまった。参観など園に出向いてくれた時を利用して話す機会を作るようにしたり、電話をするようにしてきた。
- ・子どもが保護者に伝える喧嘩やトラブルは足りないことが多いので、保護者の必ず丁寧に状況説明をするよう心掛けた。
- ・園の様子を伝えるだけでなく、家庭での様子を聞くことも忘れないように心掛けた。
- ・保護者の園に対する要望と、自己としての思いのすれ違いがとても大きく感じられることがあった。
- ・子どもの成長や気になる姿は、直接話したりクラスだよりで伝えたり、また電話をして家の様子を聞いたりしてきた。
- ・意識して子どもの様子を伝えていくようにしたり、気になる子については、成長や課題を共通認識にしていくことが少しずつできつつあることは成果としてあげたい。

次年度以降取り組みたい課題について

- ・効率よく仕事をすることで自分の時間を作り、その時間を保育の質の向上に努めていきたい。
- ・自分のクラス運営でいっぱいにならず、学年や係の仕事等全体を広い視野で見て、考えて、動けるようにしていきたい。
- ・全体だけでなく個を大切にする保育、見通しを持った保育を心掛けたい。
- ・ゆとりのある生活の中での一つ一つの経験や気付きをもっと大切にしていきたい。
- ・この幼稚園が昔から特色として打ち出している造形活動の面において、できる範囲

での何らかの取り組みができると良いのでは。

- ・限られた時間(保育中や放課後等)を有効に使えるように内容を見直したいと思う。
- ・教職員間で思いやりをもって行動していきたい。

全体的な分析

評価全体を通して感じたことは、個々の課題の見え方については違いがあるものの、各自が自分の課題を捉えて、その課題に向けて個人差はあるものの努力していることは感じとることができた。年代やポジションによって内容に多少の違いはあるが、それぞれに自分自身の視点でしっかりと振り返り、成果と課題を明確にしていくことの大切さを感じとっているようだ。

また、級外教職員も良きサポーターに徹して、子ども一人一人の育ちや若い年代の教員への励まし、保護者との信頼関係の構築などに心を砕いてきた様子が感じとることができた。

近年、教職員の経験差が大きくなった体制での園運営が行われている。経験差が大きい中でもそれぞれに努力を重ねて一年間を過ごしてきたが、上手く回っていかない場面が多く見られているので、お互い信頼し合うことを根底に、寄り添いながら引き続き努力していきたい。子どもの前に立つ教師としての姿、後輩の前に指導者として立つ姿、先輩の話を真摯に受け止め生かし、生かしてとする姿…等、それぞれのポジションで自分の立ち位置、立ち振る舞いを再度検証確認し、実行していくことこそ求められていると痛切に感じる。そのことを次年度への課題としたい。

一年度末アンケート調査にご協力くださいー

設問1

- お子様の学年は？ 1. 満3歳児 2. 年少 3. 年中 4. 年長
(お子様が2人の場合は2学年に○印をお願いします。)

設問2

一年間のお子様の様子をどのように感じておられますか？

1. 満足している 2. ある程度嬉しく感じる 3. 特別に感想はない

☆それはどんな場面で感じておられますか？

設問3

一年間で印象に残ったお子様の表れがありましたか？

1. ある 2. 特にない

☆「ある」とお答えになった方にお尋ねください。それはどんなところですか？

設問4

保育内容や園行事、園生活全般にわたってご意見、ご感想があればご記入ください。
(教職員への要望等でも構いません。スペースが足りない場合は裏面にご記入ください。)

ご協力、まことにありがとうございました。

締め切り2月17日(月)

令和元年度 保護者アンケート実施結果についての考察

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

保護者の皆様にご協力いただいたアンケートがまとまりましたのでご報告いたします。

《回収率》

満3・年少	年中	年長
62%	50%	47%

以下に、各設問について主な複数意見をまとめて報告します。

☆ **設問2** 「一年間のお子様の様子をどのように感じているか?」について

提出してくださったほとんどの方が『満足している』の評価、『ある程度嬉しく感じる』という方を含めれば100%の返答をいただいた。

☆ **設問3** 「一年間で印象に残ったお子様の表れがあったか?」について

提出してくださった全員の方から『ある』という返答いただいた。

☆ **設問2と設問3の自由記述の欄では…**

満3
年少組 ・ 基本的な生活習慣の確立、園生活を楽しんでいる様子、友達との関わり、言葉の成長などが多くあげられ、自分のことが自分でできるようになったということが嬉しく感じているようだ。

年中組 ・ 周りの友達への気付き、友達関係の広がり、園行事に期待し張り切って取り組む姿、諦めず最後まで頑張ろうとする姿等、園生活や意欲の面での成長が多くあげられていた。また、社会性の芽生えを感じているようだ。

年長組 ・ 自分で考えて行動しようとする姿、自分なりの目的を持ってより頑張ろうとする姿勢、友達関係の深まりや協調性の育ち、年下の子への接し方・優しさ等、人との関わりにおける成長が多くあげられた。
また、自分の思いや状況を順序立てて相手に伝えるなど、言葉の成長も実感しているようだった。

※いずれの学年の成長も、その年代で私達が育ってほしいと思う姿と重なり嬉しく思います。保護者の皆様がお子様の充実した育ちの場面を数多く実感できるよう、保育内容の一層の向上に励んでまいります。

☆ **設問4** 「園生活全般にわたってのご意見、ご感想の自由記述欄」では…

本年多くの建設的なご意見を頂戴しました。特にご意見の多かった点については下記に列記しました。
早速来年度より改善できるところから対応を考えてまいりたいと思っております。

○参観ではなく普段の子どもの様子を見る機会（自由に見れるような日や時間）を増やしてほしい。

►自由な参観（クラスの保護者でこれる方だけという形）の場合、保護者の方が来られないお子さんにとって寂しい時間となり泣いてしまうことが予想されます。それが年少児であろうと年長児であろうと同じだと思います。そういう思いから保護者全員揃っている参観という形で実施しているのが実情です。保護者の皆様の思いに添えるような何か良い方法があるか検討していきたいと思います。

○園行事の案内、参観等保護者が園に出向く行事の詳細をもう少し早く知りたい。詳しくは後日ということが多いわかりにくい。

►月の予定をお知らせする学年だよりは前月の中旬頃までには配布するようにしています。ただ、「詳細は後日～」という記載の仕方は多いかもしれません。あまり早いと詳細は決められず、とりあえず日時だけでも、

という思いで書かせてもらいました。お知らせ方法を検討してみます。

○通園バスが予定時間より10分以上早い時がある。運行時間を守ってほしい。

→通園バスの到着時間は交通状況により左右されてしまうこともあります。しかしながら、通常早く着きそうな場合は停車可能な場所で時間調整をしたり、早く着いてしまった場合は各バス停で出発時間までは待つ、ということになっています。そのような事実があったとしたら大変申し訳なく思います。早速、バス運転手及び乗務員に確認の上、今後そのようなことのないよう対処していきたいと思います。

○インフルエンザの時期の欠席メール以外に、通年で園やクラスで流行している病気について通年で情報提供をしてほしい。裏門等にホワイトボードを使って掲示する形でもいいので。

→伝染性の病気が発生した場合や欠席者が多いクラスについてはクラス単位でお知らせするようにしています。ご提案の方法についても検討してみます。

○園駐車場に関するいろいろなご意見について。

→狭いということについては現状拡げるスペースがありません。参観等で車利用者が多い場合はなるべく多くの方が利用できるよう駐車方法を考えていきたいと思います。混乱を避けるため「入口」「出口」の表示をしてあるのにも関わらず守られていない方が多いというご指摘もありました。出庫の動線上、入口出口は変えられませんので皆様のご協力をお願いします。また、「駐車場横の溝を埋めてほしい」というご意見がありました。横の川のことだと思われますが、幼稚園の管轄ではないので埋めることはできません。

ご了承ください。

○アンケートの質問を細かく設定した方が答えやすい。

→年度末アンケートは毎年形式を変えてご協力をお願いしています。数年前はかなり細かく書いてもらっています。多くの保護者様の声をお聞きすることが目的ですので、いろいろな形式を考えていきたいと思っています。

○教職員の言動（挨拶、覇気、言葉使い等）に問題がある。教職員の教育は大丈夫ですか？

→教職員の言動に不快感を感じとられる方がいらっしゃることはとても申し訳なく思いますし、反省しなければならない点です。子ども達を真ん中に、保護者の皆様、教職員一同で力を合わせて育していくことが幼稚園の役目もあります。教師としての心構えを忘れずに、子ども達にも保護者の皆様にも接していくよう心掛けます。

○中央棟の階段を下りた周辺の足元が暗くて危険。電灯がつくようにしてほしい。

→電灯を確認の上、2/25より電灯が点灯するよう対応しました。

○セキュリティに関して、降園時間後の裏門からの出入りが緩いように感じます。

→裏門近くには監視カメラも設置しており、職員室で出入りをチェックするように心掛けています。こばと組の子ども達もいるので、もう少し何か対策が取れればと考えています。

○その他のご意見

*いろいろな場面で先生方の努力や愛情がつたわってくる。

*園行事において、時期に合わせて様々な取り組みがあり良い経験ができている。

*子どもが幼稚園の給食が美味しいと喜んでいる。何でも食べるようになった。

*体操シャツが白地で汚れが目立つので漂白や染み抜きが大変。もう少し汚れの目立たない手入れの負担が少ない体操シャツにならないか。

*3歳児の性教育（パンツの教室）を取り入れてほしい。

*運動会や音楽祭を業者さんに撮影してもらいDVD販売してほしい。

*幼稚園で必要なものを持っていくがるので園で徹底してほしい。

*園行事の時期を検討してほしい。

*年中組の親子遠足の行き先の検討

*こばと組について（人数、保育スペース、担当職員の増員、おやつの取り扱い等）

…等

◎保護者会行事等についてもご意見をいただきました。寄せられたご意見は保護者会総務部に伝え、次年度への検討事項とさせていただきます。

◎教職員の処遇改善について提案してくださる保護者の方の声がありましたので少しお答えします。

*土曜日にイベントがある際は月曜日に代休をしっかり取る。休日は十分に休み、園生活では100%の力で子ども達に接してほしい。

→ご両親とも働いているお宅にとっては、代休を取ることで子どもの預け先がないという場合もあり、代休を取らないイベントもあります。次年度土曜日実施のわんぱくホリデー（運動会）は翌々日の月曜日に代休を取らせていただく予定です。

*運動会の時、先生方が帽子を被っていないことが気になる。

→次年度より活動に支障がないよう被らせていただきます。

*行事で使用する被り物や小物、音楽祭の衣装等の制作を保護者が手伝ったらどうか。

→お気持ちは大変ありがとうございます。音楽祭の衣装など手が込んでいるのかなりの時間がかかっているのは?と心配の声もいただきました。勿論1から担任だけで作っているのではなく、以前使ったものをリメイクしたり級外職員が総出で手伝ったりしながら、子ども達の頑張りを後押しし作り上げていきます。そんな思いの表れが、音楽祭だったり造形まつり作品展なのです。園内の子ども達の活動に必要なものについては園教職員で作るものだと考えます。保護者の方々にお手伝いいただきたいことができましたらお声をかけさせていただきます。その際はよろしくお願いします。

*年間を通じて行事が多いのでは?子ども達にはありがたいことだが、先生方の負担を考えると大変では?

→子ども達にいろいろなことを経験させてあげたい、という思いから増えた活動もあると思います。今の子ども達にそれらすべてが必要かということを考えながら、少しずつ精査していく必要性は感じています。

保育については、概ねご回答をいただいた皆様から一定のご評価を頂戴できました。

今回のアンケートでは教職員の処遇改善への提案もあり、大変ありがとうございます。

しかし、園長を含め教職員への厳しいご意見もございました。ご意見を頂戴したことを見直しに受け止め、改善に向けて頑張っていく所存でございます。現状に甘んずることなく、より一層子ども主体の保育を中心掛けるとともに、年間行事・教育内容などの再度見直し、より快適な環境となるよう今後も鋭意努力を重ねてまいります。来年度に向けてよい反省材料をいただき、感謝申し上げます

子ども達が主体的に活動できるよう、環境（人的・物的）を整え、成長を促せるような日々の積み重ねを大切に、教職員一人一人が子どもに寄り添った保育ができるよう、引き続き研鑽を積んでいきたいと考えております。

一年間のご理解とご支援、誠にありがとうございました。

【 園内遊具の保全状況について 】

前年度末に業者による一斉点検を実施した。その結果、以下の点について報告ならびに指摘があった。

- 1 ビッグツリー (にこにこの木) ➔ 3階踊場部分の木製枠のひび割れ
昨年度に引き続いて経過観察を行った。現在、直接、転落等の事故につながる危険性はないが、状況の目視に心掛ける。



- 2 サンシャイン遊具 (前庭総合遊具)
➔ トンネル部分全面交換



- 3 幼児用下足入れ塗装
➔ 3歳児…ピンク
4歳児…黄緑
5歳児…クリーム色

学年帽子の色を基準に全体をパステル調にし、
優しい雰囲気に！

※なお、各学期末に担当者による目視、触診による動作点検を実施している。

【 園内施設（建物・構築物関係）の保全状況 】

- 1 · 高圧受変電設備（空調用増設）
 · 空調室内・室外機器設置
 及び付帯電気工事



2 園庭緑化関係事業

➡園庭の芝関係の事業として、時期に合わせて肥料を散布、冬芝の種まきなどを実施した。また、スプリンクラーなどの修理も実施した。

平成31年度 学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園 学校保健安全計画

○学校保健の柱

- ①園児の健やかな生活を守るため、保健に関する学習機会を推進し、自主的な健康生活の基礎を培う。
- ②健康診断を実施し、疾病異常の早期発見と早期治療を促すとともに、保護者との相談活動に努める。
- ③JRC（青少年赤十字）活動の精神に基づき、保育室内外の環境美化を推進する。
- ④保護者を含めて、家庭ぐるみでの食育教育・環境教育の推進を図る。

○学校安全の柱

- ①学校施設器具の定期安全点検を実施する。
- ②園児、教職員、家庭それぞれの防災意識を高め、同時に火災・震災に備えての園内定期訓練を実施する。
- ③保育時間中の園施設内の巡回・監督についての分担表を整備し、担当者による監督・指導を徹底する。
- ④園外活動時の事前現地調査（下見）ならびに当日運営にあたっての監督者数、父親代表者の同行に配慮し、安全な事業実施を図る。
- ⑤交通教育の徹底を図り、事故防止に努めるとともに、保護者、教職員の交通道徳向上に向けての啓蒙活動を行う。
- ⑥正門、通用門、裏門の施錠・開錠管理を徹底し、不審者の侵入を防ぐとともに、定時園内巡回や防犯カメラ管理によって安全確認を進める。

以上の柱に基づき、別紙のような年間計画を作成し、その実施に努める。

平成31年度 学校保健安全計画

焼津豊田幼稚園

☆第1学期

	4月	5月	6月	7・8月
園行事 学年行事等	8 始業式	家庭訪問(個人面談)	5 内科検診②	6 夕涼み会
	10 入園式	母の日の会	8 わんぱくホリデー	19 年長川遊び
	20 PTA総会	16 年少親子遠足	12 年長親子遠足	23 大掃除
		21 年長がんばりハイク	20 歯科検診	24 終業式
		22 内科検診①	22 家族参観	24-25 年長宿泊保育
		30 年少がんばりハイク		8/5-6 夏季保育
		31 年中がんばりハイク		5 入園説明会
				8/28-30 夏季保育
保健管理	心身の管理	身体測定	身体測定	身体測定
		応急処置記録整理	応急処置記録整理	内科検診
				歯科検診
				健康診断事後措置
				感染症罹患率調査
	環境管理			健康診断未受診者再検診
				応急処置記録整理
		施設点検	施設点検	施設点検
		施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ
安全管理	安全管理	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
				園外活動中の救急準備
				園外活動中の教護活動
				園外活動中の教護活動
				園外活動中の教護活動
	保健指導	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
		施設内所定場所の撮影	園外活動中の教護活動	園外活動中の教護活動
			施設内所定場所の撮影	施設内所定場所の撮影
				施設内所定場所の撮影
保健教育	安全指導	防災・避難訓練	施設内所定場所の撮影	施設内所定場所の撮影
				防災・避難訓練
	環境その他の啓蒙活動	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
		基本的習慣・態度	手洗い・うがい	虫歯と歯磨きについて
		健康診断の意義	心身の健康について	環境衛生について
				夏季休業中の健康管理
				熱中症予防について
	環境その他の啓蒙活動		園内の事故防止	園内の事故防止
			園外活動中の安全	園外活動中の安全
				夏季休業中の安全管理

☆第2学期

		9月	10月	11月	12月
学年行事等	園行事等	2 始業式・防災訓練	1 年長SL遠足	1 年長がんばりハイク	14 音楽祭
		28 祖父母参観	19 造形展	7 年少がんばりハイク	20 終業式
		年長視力検査	26 PTAバザー	17 創立記念日	
			29 年中がんばりハイク		
保健管理	心身の管理	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定
		応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理
		治療勧告書整理	治療勧告書整理		感染症罹患率調査
			年長視力検査		年中視力検査
	環境管理	施設点検	施設点検	施設点検	施設点検
		施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
		園外活動中の救急準備	園外活動中の救急準備	音楽祭の救急準備体制	
保健教育	保健指導	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
		防災点検	園外活動中の救護活動	園外活動中の救護活動	園外活動中の救護活動
		緊急時管理体制の見直し	防災・避難訓練	防災・避難訓練	防災・避難訓練
		防災・避難・引渡し訓練			
	安全指導	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
		けがの処置と予防について	就学時検診事前指導	規則正しい生活・睡眠	冬に多いやけどについて
		生活習慣の見直し	目の大切さについて	風邪の予防対策	冬季休業中の健康管理
		歯磨き指導	栄養バランスと健康管理	うがい・手洗いについて	冬に負けない体力づくり
				衣服の調節・工夫について	
環境その他の啓蒙活動	環境その他の啓蒙活動	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止
		園外活動中の安全	園外活動中の安全	園外活動中の安全	

☆第3学期

		1月	2月	3月
園行事 学年行事等		7 始業式	15 一日体験入園	3 年少お別れ会
		17 年中親子遠足	26 年中お別れ遠足	16 大掃除
		中旬 マラソンごっこ	28 年長お別れ遠足	17 修了証書授与式
		年中視力検査	中旬 マラソンごっこ	18 終了式
		年少視力検査	劇参観	
保健管理	心身の管理	身体測定	身体測定	身体測定
		応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理
		次年度健康診断立案	次年度健康診断立案	次年度健康診断準備
		病欠調査	病欠調査	年間感染症調査
				公簿整理
				病欠調査
		施設点検	施設点検	施設点検
	環境管理	施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ	トイレ・水道等の石鹼つけ
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
		園外活動中の救急準備		園外活動中の救急準備
		施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
保健教育	安全管理	防災・避難訓練	園外活動中の救護活動	園外活動中の救護活動
			防災・避難訓練	防災・避難訓練
		保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
		冬季休業後の健康管理	換気の重要性について	1年間の健康管理の反省
		インフルエンザ予防対策	寒さに負けない体力づくり	耳について
		手洗い・うがいの見直し		春季休業中の健康管理
	安全指導	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止
			園外活動中の安全	春季休業中の安全指導
環境 その他の 啓蒙活動		応急処置	応急処置	応急処置
		健康相談活動	健康相談活動	健康相談活動
		健康観察	健康観察	健康観察
				春季研修